

審判上の注意事項

本大会は、2019年度（公財）日本バレーボール協会6人制バレーボール競技規則で行う。

*ネットは男子2m30cm。女子は2m15cmで行う。

【ゲーム開始前】

◎トス後、監督、キャプテンは、記録用紙にサインを済ませる。監督はリベロプレイヤーについても記録用紙に明記する。

◎「合同5分の練習」はパス程度とする。ただし、登録された12名とベンチスタッフ以外はその場から外れること。

◎「公式練習（権利のないチーム）」について

- ・練習の権利のないチームのボールの使用は、権利のあるチームのスパイク練習と反対サイド後方のみ可能。但し、サーブ練習を開始した時点で権利のないチームは速やかにボール練習をやめること。
- ・練習権利のないチームの記録席・ベンチ前及びコート間のスペースのボール使用はしない。

【ゲーム中】

A 審判、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は慎まなければならない。

B スポーツマンとしてふさわしくない行為は嚴重に慎むこと。

- ・審判、相手プレイヤー・スタッフ・応援席に対して威嚇するような（ガッツポーズ、指差し、フロアを強く蹴るなど）行為。

C ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、ディレイング・ゲーム（遅延行為）になる恐れがあるので行わないこと。

D ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールは速やかに相手コートの選手に渡すこと。

A～Dについては、警告・罰則の対象となる。

◎監督、コーチ、マネージャーは統一された服装であること。但し、マネージャーが生徒の場合をのぞく。また、ベンチでは、監督⇒コーチ⇒マネージャーの順に座る。

◎タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がってハンドシグナルをはっきり示して、監督が口頭で要求すること。（ラリー中、監督はベンチに座っておくこと。）

◎セット間は、フリーゾーンでボールのボールを使用して良いが、隣のコートの邪魔にならないようパス程度とする。

◎荷物について

- ・ベンチ上には何も置かない。スタッフの持ち物はすべてベンチの後方（下）に置くこと。
- ・ボールケース、ドリンク類はウオームアップエリアに移動させること。

◎ワイピングについて

- ・コート上プレイヤー全員がワイピングタオルを持っていることが望ましい。また、フロアの濡れ具合が激しい場合は複数で速やかに拭き取る。
- ・コート外からのタオルの投げ入れは禁止。また、審判の指示があった場合のみモップを使用できる。

◎リベロの取り扱いについては一般のルールとする。

【ゲーム終了後】

◎試合終了後は、速やかにベンチを離れて荷物などをコート外に移動させること。

*その他の事項についても、主催者・審判員の指示に従って下さい。